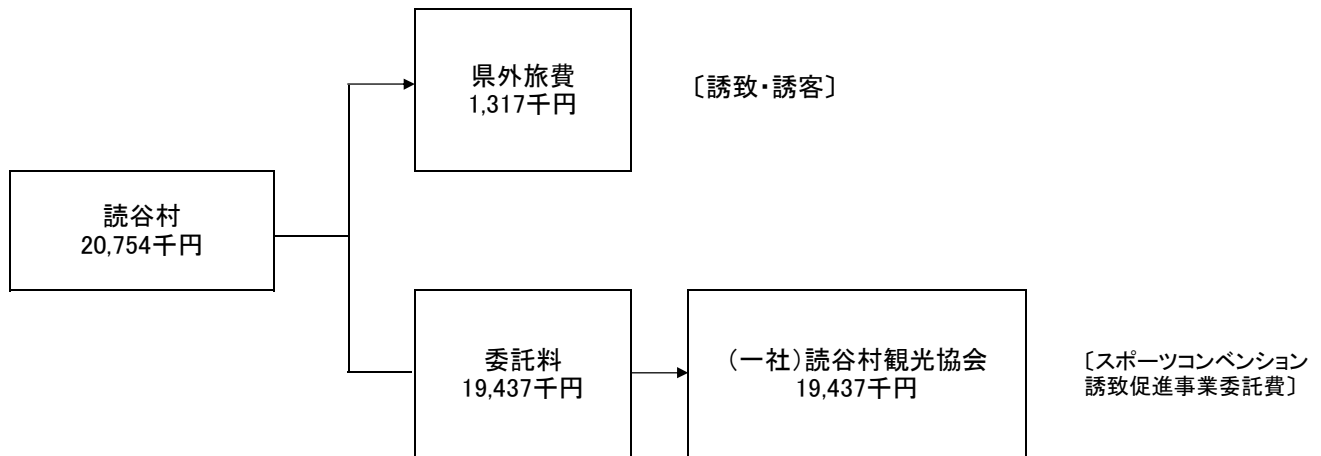


市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	スポーツキャンプ等の誘致及び観光誘客を図るため、各種スポーツキャンプ・大会等の誘致活動、キャンプチーム本拠地での観光・物産PRイベント、キャンプ期間中の集客イベントの実施、SNSを通じた観光情報等の情報発信等を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,700	25,868	23,958	20,882	21,441
		(b) 予算現額	17,730	23,769	20,882	19,352	21,411
		(c) 増減額(b-a)	▲ 970	▲ 2,099	▲ 3,076	▲ 1,530	▲ 30
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		17,730	23,769	20,882	19,352	21,411
	B. 執行済額		16,210	23,033	20,612	19,112	20,754
	うち交付金充当額		12,968	18,426	16,489	15,289	16,602
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.4%	96.9%	98.7%	98.8%	96.9%
予算の状況の説明		概ね事業計画どおり予算を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	①各種スポーツキャンプ・大会等誘致活動(5回)	目標	( 4回 )	( 4回 )	( 5回 )	(      )	
		実績	2回	1回	1回		
	②観光誘客活動(3回)	目標	( 3回 )	( 3回 )	( 3回 )	(      )	
		実績	4回	4回	5回		
③観光誘客イベントや、キャンプ期間中の集客について事業委託を行う。	目標	(      )	(      )	( 実施 )	(      )		
	実績			実施			
達成状況説明	①5回の誘致活動を計画していたが、先方とのスケジュールが合わず1回の実施となった。 ②3回の観光誘客活動を計画していたが、2019ラグビーワールドカップに向けた誘客活動を追加し5回の実施となった。 ③委託によりファン感謝祭等の誘客イベントを実施し、サッカー・野球チームのファンを中心に県内外から多くの来客があった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	スポーツコンベンション誘致件数26件以上	目標	(      )	( 20団体 )	( 21団体 )	( 26団体 )	(      )
		実績		21団体	28団体	29団体	
	イベント観客数80,000人以上	目標	(      )	( 60,000人 )	( 80,000人 )	( 80,000人 )	(      )
		実績		67,881人	77,371人	102,981人	
キャンプ期間中の来場者数23,275人以上	目標	(      )	( 4,000人 )	( 16,532人 )	( 23,275人 )	(      )	
	実績		11,000人	35,400人	23,730人		
進捗状況説明	・スポーツコンベンション誘致件数については、誘致活動の実施により、目標よりも3団体増え、実績として29団体となり目標値を達成した。 ・チーム本拠地における誘客イベントでは、目標値を上回る102,981人の観客数のイベントで、本村の観光・物産等のアピールそしてチーム代表へのトップセールスによる誘致活動を行った。 ・キャンプ期間中の来場者数については、23,730人の実績となり目標値を達成した。昨年よりも減少したものの、キャンプ地としての本村の認知度がファンの間でも浸透してきており、過去と比較すると一定以上の集客がみられるようになっている。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020東京オリンピックに関連し、今後もスポーツコンベンションの受入が見込まれる。受入に関しては、チームから施設また地域交流についても積極的な要望がある。</li> <li>・誘客については引き続きチームのファン層向けにPRを行い、本村の観光・物産情報を絶えず発信することが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームからの多様な要望に応えるため、スポーツ施設管理部署などと連携を図り、さらに地域交流などチームと本村のレガシーとして残るような取り組みを検討する。</li> <li>・キャンプ時期以外誘客も視野にいれ、以前までの県外誘客活動で獲得したファン層に向け、SNS等を通じた情報発信を常に行う。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続きキャンプを行うようチームに働きかけるとともに、関係部署等と連携してキャンプ受入体制を強化する。</li> <li>・県外誘客時・キャンプ時イベントでPRしたファン層に向け、多くの観光・物産情報が届くよう、情報発信に力をいれる。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,754	20,754	16,602	4,152	0



資金の流 れ、点 検、 費 目・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、実績などを勘案したうえで選定しているため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業目標などは概ね達成されているため適正な予算規模であったと考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途等については、額の確定時において支出などに関する書類により確認、適正であったと考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		危険生物駆除事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部署名	総務部 生活環境課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲機を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算状況	(a) 当初予算額	7,349	8,090	7,606	7,607	7,677
		(b) 予算現額	7,349	6,180	5,802	6,048	6,002
		(c) 増減額(b-a)	0	▲1,910	▲1,804	▲1,559	▲1,675
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	7,349	6,180	5,802	6,048	6,002
	B. 執行済額		5,894	6,179	5,802	6,048	6,002
	うち交付金充当額		4,715	4,943	4,642	4,838	4,801
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		80.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。指名競争入札による入札残分を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	村内にハブ捕獲器を400器設置	目標	( 設置 )	( 設置 )	( 設置 )	( 400器設置 )	
		実績	設置完了	設置完了	設置完了	400器設置完了	
	定期巡回・管理・処分の実施	目標	( 25回 )	( 24回 )	( 24回 )	( 実施 )	
		実績	25.8回	29.1回	30.6回	20回実施	
	危険周知看板100枚の管理・修繕	目標	( 100枚 )	( 100枚 )	( 100枚 )	( 100枚 )	
実績		100枚	100枚	100枚	100枚		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年4月下旬に委託業務を発注し、ハブ捕獲器400器を設置した。</li> <li>捕獲するためのエサとなるマウスを飼育し、設置期間から2週間を目途に巡回・捕獲器の管理・捕獲したハブの処分を行った。</li> <li>危険周知看板100枚の維持管理を行い、観光客及び村民への啓発に繋げた。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	村内におけるハブによる観光客や村民の咬症被害数:0件	目標	( - )	( 0件 )	( 0件 )	( 0件 )	( - )
		実績		1件	1件	0件	
	【参考指標】 捕獲数:100匹/年	目標	( - )	( 100匹 )	( 100匹 )	( 100匹 )	( - )
		実績		170匹	160匹	399匹	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>村内におけるハブによる観光客や村民の咬症被害数は0件であり、目標を達成した。</li> <li>前年度と比較すると、捕獲数は大幅に増加している。</li> <li>令和元年度:ハブ類160匹 その他へび類239匹 計399匹</li> <li>平成30年度:ハブ類125匹 その他へび類 35匹 計160匹</li> </ul>						

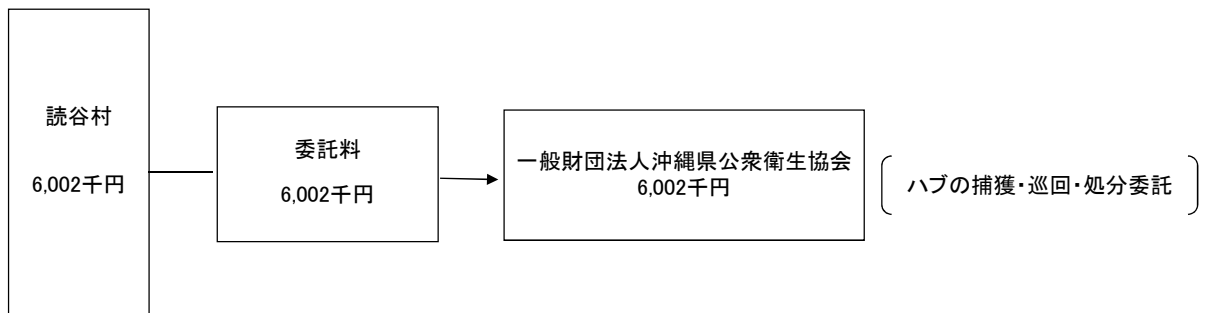
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の捕獲数160匹に対し、今年度の実績は399匹となった。設置エリア毎の捕獲数によりハブの活動エリアを検証し、捕獲器設置箇所を見直した結果、捕獲数の増加につながったと考える。</li> <li>令和元年度は、毎年のように発生している咬傷被害が0件となり、目標を達成することができた。引き続き、来村する観光客や村民へ、危険生物であるハブへの注意喚起を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア毎の捕獲実績数を鑑み、設置箇所の再検討を行う。</li> <li>事業の概要や読谷村におけるハブ被害の現状について、注意喚起看板やHP、FMラジオを通じた周知活動を行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 定期的な捕獲数の検証を行い、捕獲器設置箇所の改善等の検討を行い、継続的なハブの捕獲、駆除により安全な観光地を目指す。
- 注意喚起看板の管理・修繕を行い歩行者等へ周知するとともに、HPや広報誌、FMラジオを活用し、村民及び観光客に対し、危険生物であるハブへの注意喚起を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,002	6,002	4,801	1,201	0



資金の流 れ 検 査 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。県内実績を勘案し選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模として不用額は、全て入札残であり、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	ヨミタンJOHO発信事業 (読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	(a) 当初予算額	6,876	7,506	7,218	7,218	7,256
		(b) 予算現額	6,876	7,506	7,218	7,218	7,256
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	6,876	7,506	7,218	7,218	7,256
	B. 執行済額		6,876	7,506	7,218	7,218	7,256
	うち交付金充当額		5,500	6,004	5,774	5,774	5,805
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	レンタカードライブMAPへの記事掲載	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>主にレンタカーを使用する観光客を本村へ誘導するため、観光情報番組制作し、事業期間中(平成31年4月9日～令和2年3月15日)の午前中に毎日放送を行った。</li> <li>レンタカー利用者に配布されるドライブMAPに番組の情報を掲載し、聴取機会の向上を図った。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
			( )	( 1,520件 )	( 1,419件 )	( 1,281件 )	( )
	メール受信件数:1,281件	目標	( )	( 1,520件 )	( 1,419件 )	( 1,281件 )	( )
		実績		1,007件	911件	894件	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間中(平成31年4月9日～令和2年3月15日)は毎日放送を行い、多くのレンタカー利用者へ読谷村の魅力や情報の発信に努めたが、番組へ寄せられたメールの受信件数の実績は894件であり、目標達成には至らなかった。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	メール受信件数は減少しているが、放送で紹介した飲食店等から、ラジオでの紹介が誘客に繋がっているとの声は挙がっている。メール件数には反映されていないが、一定程度の誘客には繋がっているものと考えられる。	テーマを絞った放送や特別企画を行うことで、メール件数が増加する傾向があるため、委託業者と協議し、メール受信増につながる番組構成に努める。
今後の取り組み方針		
事業期間中毎日の放送を欠かさず行い、読谷村の観光情報を発信していく。発信に際しては、反響の大きかった番組内容・企画を参考にしながら、委託業者と会議・意見交換を毎月行い、メール受信件数を増やし読谷村へ来訪してもらえる番組作りに取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	7,256	7,256	5,805	1,451	0
<pre> graph LR     A[読谷村 7,256千円] --&gt; B[委託料 7,256千円]     B --&gt; C[FMよみたん 7,256千円]     subgraph Note     C --- D[番組制作・放送及びチラシ制作・ 配布にかかる委託業務]     end </pre>					
資金の流点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内コミュニティ放送局3社からの見積徴取により、読谷村でコミュニティFMを運営するFMよみたんを支出先に選定しており、妥当であったと考える。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は見積及び前年度の実績等を考慮し設定しており、適正であったと考える。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目的に応じて、適正なものであったと判断した。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	読谷に一びち観光客誘致プロジェクト事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外でプロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	10,355	2,762	2,774		
	(b) 予算現額	8,099	1,692	1,700			
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,256	▲ 1,070	▲ 1,074			
	(d) 繰越額	—	—	—			
	A. 計(b+d)	8,099	1,692	1,700			
	B. 執行済額	8,096	1,646	1,700			
	うち交付金充当額	6,476	1,316	1,359			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.3%	100.0%			
予算の状況の説明	当初想定より旅費が抑えられたため、事業費1,074千円を減額した。事業については、概ね計画通りに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	国内・国外でのプロモーション(3回)	目標	( 2回 )	( 3回 )	( 3回 )	(      )	
		実績	3回	3回	3回		
	パンフレットの作成(1万部)	目標	( 10万部 )	( 1万部 )	( 1万部 )	(      )	
		実績	10万部	1万部	1万部		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾、大阪、東京で、予定通り3回のプロモーションを行った。</li> <li>リゾートウェディング情報を掲載したパンフレットを予定通り1万部作成した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(H27年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	リゾートウェディング数 2,633組	目標	( 2,433組 )	( 2,460組 )	( 2,546組 )	( 2,633組 )	(      )
		実績		2,567組	2,199組	2,092組	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>リゾートウェディング数については、沖縄県が行った調査資料によると昨年から100件程度減少し2,092組の実績となり、目標達成に至らなかった。</li> </ul>						

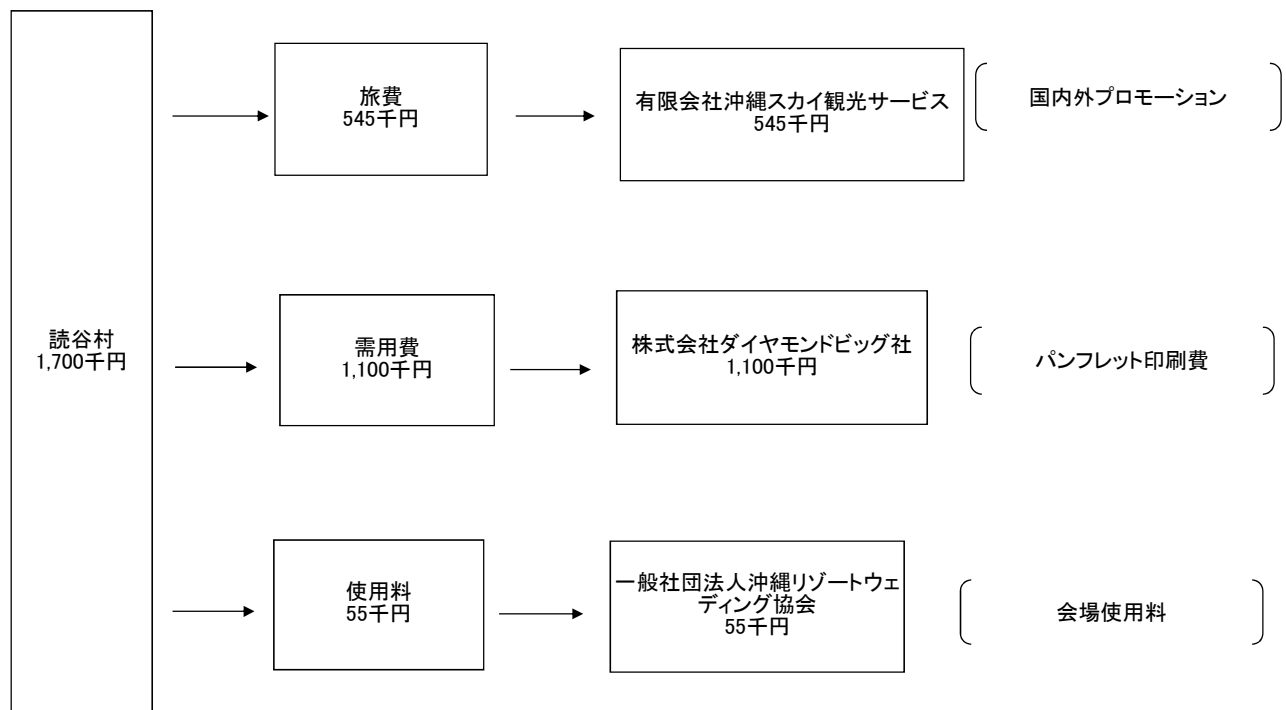
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	市町村別リゾートウェディング件数を比較してみると、対前年度比で急増している市町村が見受けられるため、県内で分散化が生じ、当村の件数が減少していると考えられる。	他市町村には無い、読谷村の観光資源をリゾートウェディングに活かせないか、関係団体等と意見交換し検討していく。

**今後の取り組み方針**

リゾートウェディング協会や、挙式業者等関係機関と意見交換を行い、読谷村の観光資源とリゾートウェディングをさらに結びつけるプロモーションが出来ないか検討する。また、国内外のプロモーション活動で特に力を入れるべき地域を検証し、関係機関との連携を強化しながら、リゾートウェディング実施組数の増に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,700	1,700	1,359	341	0



資金の流 れ、 検 査 目 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者2社以上からの見積徴収により、最低価格者へ決定し発注しているため、支出先の選定は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については事業目標を概ね達成しており適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については額の確定時に検査を実施しており、適正なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



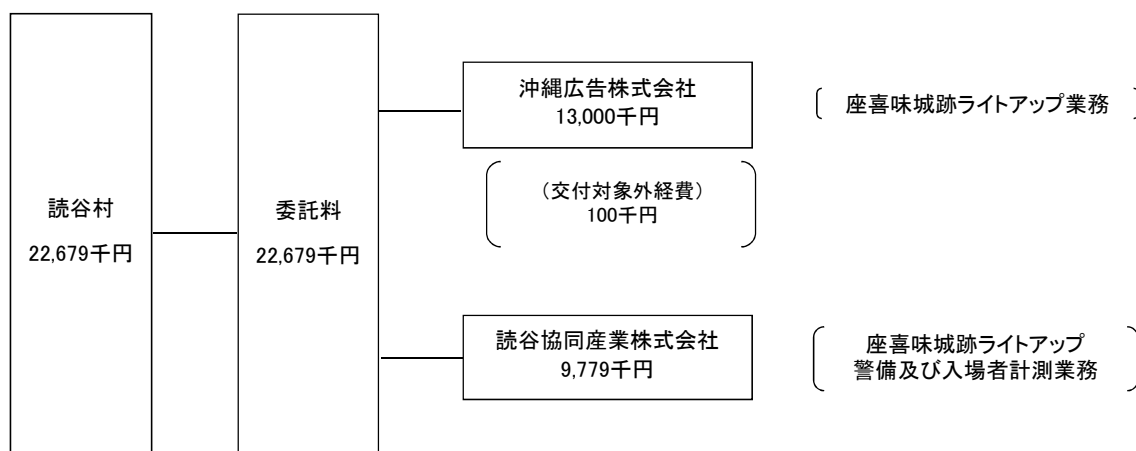
市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	世界遺産座喜味城跡活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	座喜味城跡が世界遺産登録20周年を迎えることから、改めて魅力を発信するため座喜味城跡のライトアップを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		15,057				25,000
			12,788				22,779
			▲ 2,269				▲ 2,221
			—				—
			12,788				22,779
	B. 執行済額		12,656				22,679
	うち交付金充当額		10,125				18,143
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		99.0%				99.6%
予算の状況の説明		当初計画より期間を変更し実施した。 入札残や実績に伴う執行残により、事業費2,221千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	座喜味城跡ライトアップの実施(90日間)	目標	(      )	(      )	(      )	( 90日 )	
		実績				64日	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
		実績					
達成状況説明	・座喜味城跡ライトアップを令和元年12月20日から翌年2月21日までの期間実施した。 計画時は90日を予定していたが、事業実施の効果を勘案して期間を見直し、64日となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	ライトアップ期間中の入場者数11,000人以上	目標	(      )	(      )	(      )	( 11,000人以上 )	(      )
		実績				10,854人	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
進捗状況説明	・ライトアップ期間中の入場者数について、成果目標を達成することができなかったが、ポスターやチラシだけでなく、ラジオやSNS等で周知を図ったことで、平成27年度の実績10,476人を上回ることができた。 ※H28～30年度は、史跡内の土砂災害により事業を休止。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>目標を達成できなかった理由は、新型コロナウイルスの影響で国内外からの観光客が減少したこと、また、H28～30年度は事業を休止していたため、ライトアップの再開が浸透するまでにタイムラグが生じたことが要因と考える。</p>	<p>ライトアップ期間後半(2月)は1日に300人を超える日もあり入場者数が伸びていることから、開催時期までの周知活動を強化することで集客を図る。</p>

今後の取り組み方針
<p>早期の事業着手によりポスター、チラシ、ラジオ、SNS等での広報活動を強化し、ライトアップ期間の事前周知に取り組むことで、本村における冬場及び夜間の観光誘客を図る。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

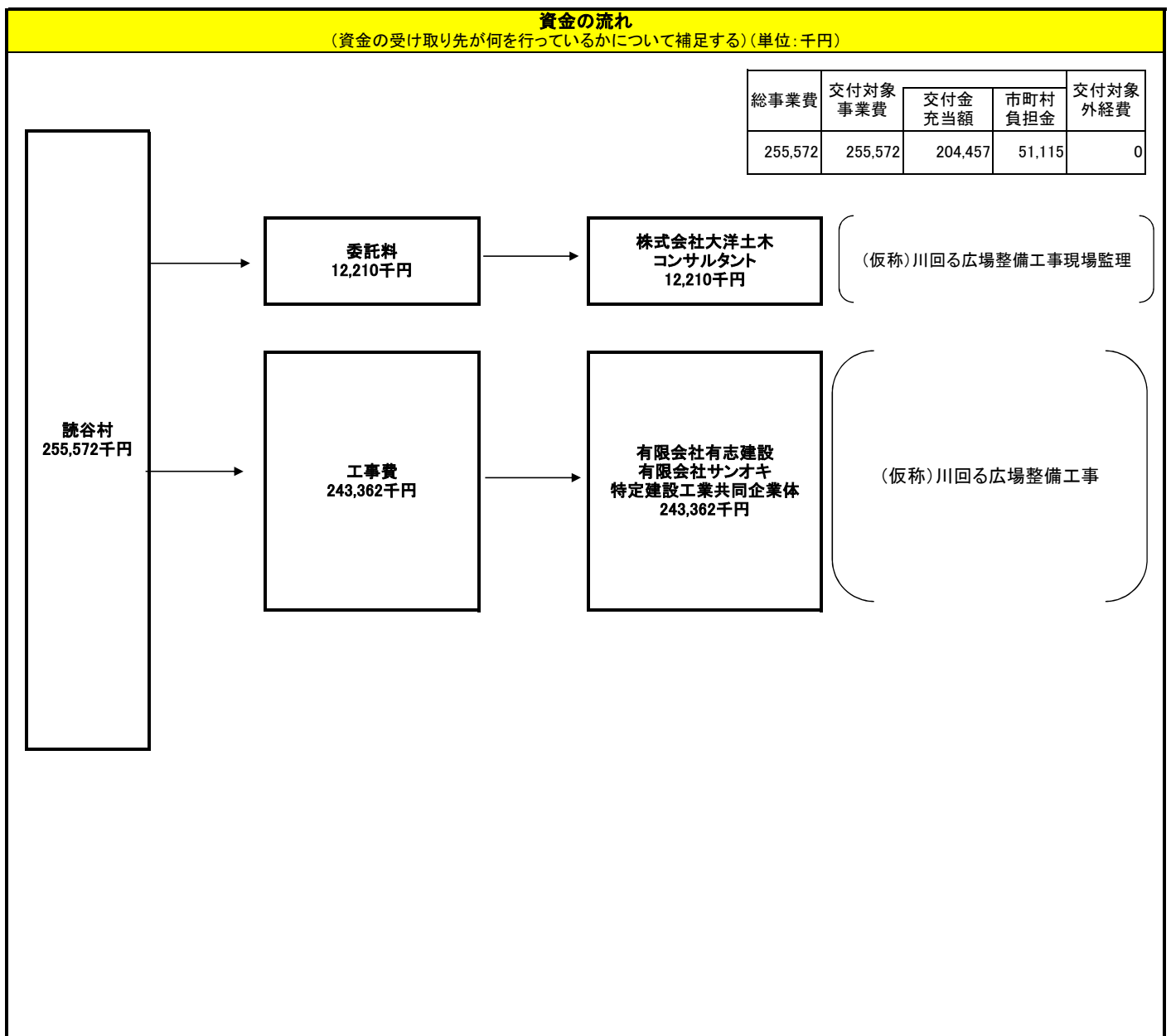
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
22,779	22,679	18,143	4,536	100



資金の流 れ 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル及び一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は適正な規模であるとする。 ○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なものであるか額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村								
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	1-⑥	川回る広場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア				
担当部署名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成30~令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)				
事業内容	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。									
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a) 当初予算額	19,858	269,509						
		(b) 予算現額	19,120	255,572						
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 738	▲ 13,937						
		(d) 繰越額	0	0						
		A. 計 (b+d)	19,120	255,572						
		B. 執行済額	18,766	255,572						
		うち交付金充当額	15,012	204,457						
		次年度繰越額	0	0						
		執行率 (%) (B/A)	98.1%	100.0%						
予算の状況の説明		委託料及び工事費の入札残を減額し、当初予定していた内容は全て実施した。								
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	川回る広場の整備を行う(工事・現場監理)	目標	( 実施設計の実施 )	( 工事・現場監理の実施 )	( )	( )				
		実績	実施設計の実施	工事・現場監理の実施						
		目標	( )	( )	( )	( )				
実績										
達成状況説明	土木・排水・機械設備等の基礎工事及びトイレ、放送室などの建築工事と現場監理を実施した。									
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)			
	工事及び現場監理のR1年度分の実施完了	目標	( )	( 実施設計の完了 )	( 工事・現場監理の完了 )	( )	( )			
		実績		実施設計の完了	工事・現場監理の完了					
	【R3成果目標】 ・ソフトボール競技公式戦の誘致:5件 ・ソフトボールチームのキャンプ誘致:6件	目標	( )	( )	( )	( )	( 5件 6件 )			
進捗状況説明	予定していたR1年度分の工事を完了し、目標を達成した。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>R1年度に予定していた工事を完了することができた。 引き続きR2年度分の工事を実施するとともに、完成後の利活用(スポーツキャンプや大会等の実施)の促進に向けて、施設の周知や誘致活動を行う必要がある。</p>	<p>引き続き完成に向け工事を実施し、R3年度の供用開始を見据えて、ソフトボール競技公式戦の誘致やキャンプ誘致に取り組む。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>令和2年度は工事及び備品購入を実施し、年度内に施設の整備を完了する。 また、村ホームページ等を活用し施設の周知を図るとともに、沖縄県ソフトボール協会等関係機関との情報連携の取り組みによりスポーツキャンプの誘致などを行う。</p>		



資金の 用途の 流れ 検証 ・ 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は適正な規模であるとする
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものであるか額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-①	日本語教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア
担当部課名	教育委員会 教育総務課・学校指導課	事業実施(予定)年度	平成24～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充
事業内容	二重国籍や外国籍児童等、日本語を習得していない児童に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、日本語教育支援員を配置する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	4,065	4,561	4,582	4,139
	(b) 予算現額	4,065	3,961	4,382	3,905	3,863
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 600	▲ 200	▲ 234	▲ 332
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)	4,065	3,961	4,382	3,905	3,863
	B. 執行済額	3,760	3,498	4,325	3,672	3,863
	うち交付金充当額	3,008	2,798	3,170	2,936	3,090
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	92.5%	88.3%	98.7%	94.0%	100.0%
予算の状況の説明	退職等により人員配置できない期間が生じたため、事業費332千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	村立小学校に3名の日本語教育支援員を配置	目標	( 3名 )	( 3名 )	( 3名 )	( 3名 )
	(配置)村立3小学校	実績	3名	3名	3名	3名
		目標	( )	( )	( )	( )
	実績					
達成状況説明	村内小学校5校中3校に各1名、日本語教育支援員を配置し、対象児童に対し、小学校の授業時の通訳や内容説明、他児童との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるよう支援を行った。また、児童の保護者に対しても学校との連絡調整の場(家庭訪問・三者面談・各通知の英訳等)で支援を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上	目標	( ) ( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
		実績	80%以上	100%		
		目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
進捗状況説明	学級担任に対しアンケートを実施したところ、支援児童の学校生活等への困難が改善されたと考える割合は100%となった。支援員の配置により、要支援児童に寄り添った支援体制を構築・維持することができたことで、柔軟なサポートが実現し、目標を達成できた。					

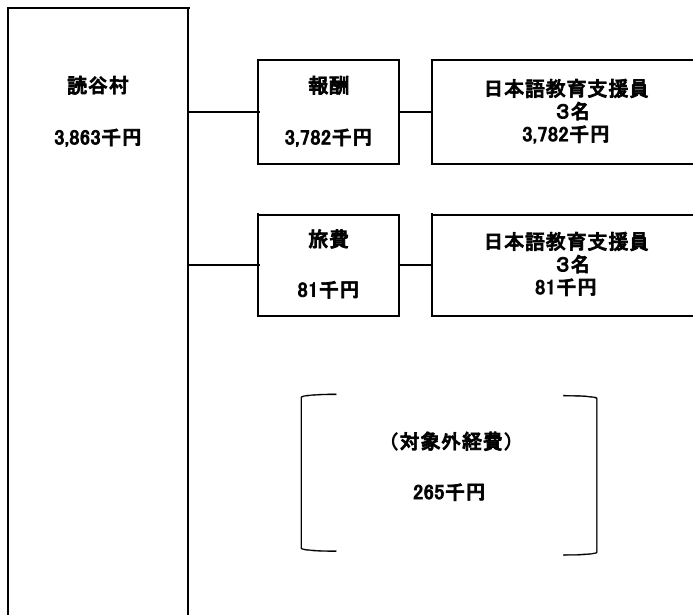
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>要支援児童に寄り添った学校生活支援や学習支援を行ったことで、学校生活等への困難の改善に繋がった。今後は新学習指導要領により外国語活動が取り入れられ、他児童との外国語でのコミュニケーションの機会も増えることから、当該事業のあり方について見直す必要がある。</p>	<p>日本語教育支援員の継続配置の是非について検討した結果、対象児童に対する継続支援は必要であるが、村単独の事業として取組んでいくこととなった。</p>

**今後の取り組み方針**

当該事業の当初の目的を概ね達成できたことから、沖縄振興特別推進交付金事業としての事業を完了とする。今後は、各小学校に配置するALTが日本語教育支援業務を兼ねることで、村単独の事業として日本語を習得していない児童に対する支援を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,127	3,863	3,090	773	264



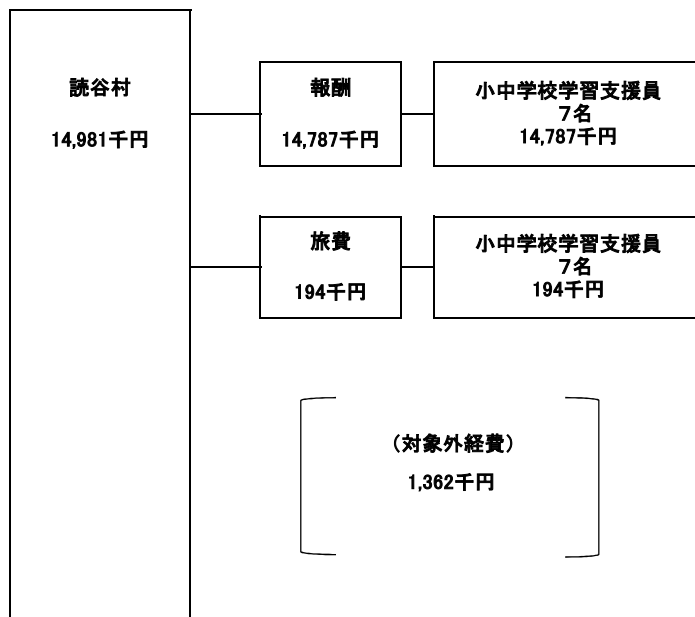
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。</p> <p>○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。</p> <p>○費目・用途は、支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 小中学校学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育委員会 教育総務課・学校指導課	事業実施(予定)年度	平成26～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(算数・数学)の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,686	16,143	16,502	15,150	14,981
		(b) 予算現額	14,686	16,043	16,154	14,688	14,981
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 100	▲ 348	▲ 462	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		14,686	16,043	16,154	14,688	14,981
	B. 執行済額		14,089	14,220	16,097	14,552	14,981
	うち交付金充当額		11,271	11,376	11,804	11,641	11,985
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.9%	88.6%	99.6%	99.1%	100.0%
予算の状況の説明		当初予定通りに執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	学習支援員配置 小学校【5校】:5名 ※主に小学校3年生の算数の学習支援を実施	目標	( 5名 )	( 5名 )	( 5名 )	( 5名 )	
		実績	5名	5名	5名	5名	
	学習支援員配置 中学校【2校】:2名 ※主に中学校1年生の数学の学習支援を実施	目標	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	
		実績	2名	2名	2名	2名	
達成状況説明	村内小中学校全校に、各1名ずつ学習支援員を配置できた。 学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、主に算数・数学について授業内容のきめ細やかなサポートを行い、基本的な学習内容の定着を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 ①小学校3年生算数	目標	( )	( 1.7ポイント以上 )	( 1.7ポイント以上 )	( )	( )
		実績		-0.7ポイント	0.3ポイント		
	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 ②中学校1年生数学	目標	( )	( -2.5ポイント以上 )	( -2.5ポイント以上 )	( )	( )
		実績		6.9ポイント	0.3ポイント		
	進捗状況説明	小学校においては、30年度より改善され僅かに県平均を上回ったが、目標値を達成することはできなかった。 中学校においては、前年度に引き続き県平均を上回り、目標値を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>小学校では目標未達成となったが、小学校及び中学校とも県平均は上回っており、本事業による一定程度の成果は出ているものとする。</p> <p>小学校では、学校間に学力差があったことが目標未達成の要因と考えられるため、今後は、それぞれの学校の実情に応じた支援のあり方を検討する必要がある。</p>	<p>小中学校学習支援員の今後の取組について検討した結果、学習支援員と特別支援教育支援員のどちらを優先して配置するか等を協議しつつ、村単独の事業として実施していくこととなった。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後は村単独の事業として、学習支援員の適正配置の考え方について協議しながら、学力の学年間格差、学校間格差の解消に取り組んでいく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
16,343	14,981	11,985	2,996	1,362



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。</p> <p>○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。</p> <p>○費目・使途は、支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

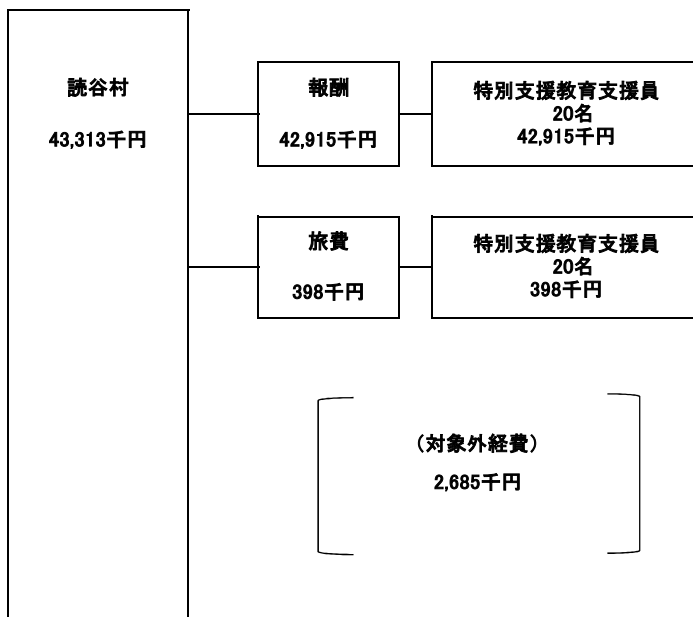


市町村名		読谷村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③ 特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ			
担当部課名	教育委員会 教育総務課・学校指導課		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	45,922	43,773	46,825	41,161	44,426	
		(b) 予算現額	45,922	43,773	45,225	39,864	43,313	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,600	▲ 1,297	▲ 1,113	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		45,922	43,773	45,225	39,864	43,313	
	B. 執行済額		44,914	42,186	44,475	39,360	43,313	
	うち交付金充当額		33,309	33,749	33,003	31,487	34,650	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		97.8%	96.4%	98.3%	98.7%	100.0%	
予算の状況の説明		退職により人員配置できない期間が生じたため、事業費1,113千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	特別支援教育支援員配置 幼稚園【5園】:5名		目標	( 5名 )	( 5名 )	( 5名 )	( 5名 )	
			実績	5名	5名	5名	5名	
	特別支援教育支援員配置 小学校【5校】:10名 ※R1年度は特例として11名		目標	( 10名 )	( 10名 )	( 10名 )	( 11名 )	
			実績	10名	10名	10名	11名	
	特別支援教育支援員配置 中学校【2校】:4名 ※R1年度は特例で3名		目標	( 4名 )	( 4名 )	( 4名 )	( 3名 )	
			実績	4名	4名	4名	3名	
	特別支援教育専門指導員 教育委員会:1名		目標	( 2名 )	( 2名 )	( 1名 )	( 1名 )	
			実績	2名	2名	1名	1名	
達成状況説明		退職に伴い未配置の期間が生じてしまったが、概ね計画通りに支援員を配置し、発達障害や心身に障害を持つ幼児・児童生徒に対し、個々の障害の状態に応じたきめ細やかな支援を行うことができた。 なお、支援対象児童の数や状態を鑑み、令和元年度のみ小学校に1名増、中学校は1名減の配置とした。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合(80%以上)		目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )	(      )
			実績		84%	82%		
	進捗状況説明		対象となる幼児・児童生徒の保護者に対しアンケートを実施した結果、学校生活や学習上の困難が改善されたと回答した割合は82%となった。 年間を通した支援員の配置により、要支援幼児・児童生徒に寄り添った支援体制を構築・維持することができたことで、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>支援員を配置することで、対象幼児・児童生徒の個々に応じた支援をすることができたが、障害をもつ幼児・児童生徒が増加していることから現在の支援体制に限界があり、支援員の体制やあり方について検討する必要がある。</p>	<p>令和元年度は幼稚園において新たに、特に介助が必要な児童への特別支援ヘルパーを配置しており、対象幼児の支援体制が確立できたため、小中学校においても配置を検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も継続的に支援員を配置し、対象幼児・児童生徒への支援を行うとともに、小中学校において、新たに特別支援ヘルパーの配置を検討する。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
45,998	43,313	34,650	8,663	2,685



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。</p> <p>○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。</p> <p>○費目・使途は、支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
<b>令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-④	ICT機能強化事業(小学校デジタル教科書)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会 教育総務課・学校指導課	事業実施(予定)年度	平成27～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、小学校にデジタル教科書を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	10,647				15,358
		(b) 予算現額	10,647				8,408
		(c) 増減額(b-a)	0				▲ 6,950
		(d) 繰越額	—				—
		A. 計(b+d)	10,647				8,408
	B. 執行済額		10,114				8,408
	うち交付金充当額		8,091				6,726
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		95.0%				100.0%
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。事業費の減額6,050千円は入札残によるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	小学校5校へデジタル教科書を整備	目標	( 5校 )	( )	( )	( )	
		実績	5校				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	村内の公立小学校5校に対し、国語(1年～6年)、社会(5年・6年)、算数(1年～6年)、理科(3年～6年)、音楽(3年・4年)、英語(5年・6年)のデジタル教科書の整備を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	児童へのアンケートで、デジタル教科書を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、デジタル教科書の活用のあり方について検証	目標	( )	( 80%以上 )	( )	( )	( )
		実績		92.5%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	アンケートでデジタル教科書を活用した授業が分かりやすかったか調査を行った結果が92.5%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	デジタル教科書を活用した授業を展開する事により、「わかる授業」「確かな学力」を育成する事ができ、児童生徒の興味・関心を高め、学習意欲の向上を図ることができた。ただし、特別支援クラスの児童については、学習情報の共有化等が困難なため、利活用方法を工夫する必要がある。	特別支援クラスにおいても、より効果的に活用できるような授業の進め方について検討する。
今後の取り組み方針		
<p>今後もデジタル教科書を活用したわかりやすい授業を実施し、特別支援クラスについては教科書を転写するだけでなく、絵や図表・音声化機能等を効果的に利用して児童生徒が興味・関心を高めるような授業展開を行い、学校教育の質の確保を図る。</p>		

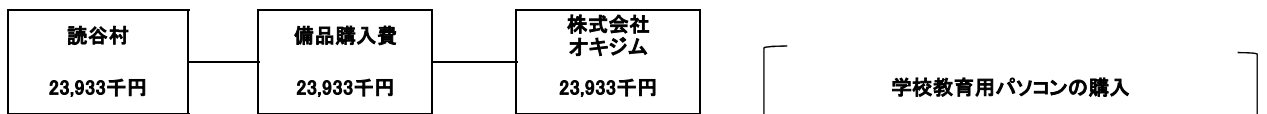
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,408	8,408	6,726	1,682	0
<pre> graph LR     A[読谷村 8,408千円] --&gt; B[備品購入費 8,408千円]     B --&gt; C[誠文堂 8,408千円]     subgraph D [ ]         direction LR         B --- E[デジタル教科書の購入]     end </pre>					
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札方式で選定しており、妥当である。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであるか及び支出等に関する書類により確認し、適正であった。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤ 小学校ICTパソコン教室機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会 教育総務課・学校指導課		事業実施(予定)年度	平成30～令和元年度		国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
事業内容	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に学校教育用パソコンを整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	64,433	24,637			
		(b) 予算現額	35,910	23,933			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 28,523	▲ 704			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	35,910	23,933			
	B. 執行済額		35,910	23,933			
	うち交付金充当額		28,728	19,146			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を執行できた。減額は入札の結果によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小学校2校のパソコン教室へパソコンを整備		目標 ( 小学校3校 )	( 小学校2校 )	( )	( )	
			実績	小学校3校	小学校2校		
			目標	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明		村内公立小学校5校中2校の整備を行い、教育環境の充実を図ることができた。3校については、前年度で整備済みである。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	パソコン教室の利用実績が利用計画時数の80%以上		目標 ( )	( )	( 80% )	( )	( )
			実績		87.9%		
	【参考指標】児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のあり方を検証		目標 ( )	( 80% )	( )	( )	( )
			実績		67.9%		
進捗状況説明		予定通り整備が完了し、2学期から利用できる環境となったため、パソコン教室の利用実績が計画時数の87.9%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	概ね計画通りパソコン教室を利用することができたが、低学年の利用率が低い傾向にあることから、低学年の利活用促進の取組が必要である。	教師に対し、低学年でも活用可能な学習ソフトの周知を行い、授業でのパソコン教室の活用を促す。
今後の取り組み方針		
<p>今後も各教科において、コンピュータ等を活用した学習活動を充実させ、情報社会に対応するうえで必要な知識および技能の習得等の情報活用能力を育成する。</p> <p>また、低学年については、学習ソフト等を利用し、タイピングやマウスの使い方等の必要な知識や技能を習得する機会の増に取り組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
23,933	23,933	19,146	4,787	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札方式で選定しており、妥当である。 ○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであるか及び支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	これまでに構築した地域散策マップWebサイト・システムを機能拡充し、連動する形で「デジタルアーカイブシステム」の構築を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,188	12,330	15,319	14,254	5,346
		(b) 予算現額	7,255	11,659	14,690	13,207	5,223
		(c) 増減額(b-a)	▲ 933	▲ 671	▲ 629	▲ 1,047	▲ 123
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		7,255	11,659	14,690	13,207	5,223
	B. 執行済額		7,255	11,659	14,690	13,155	5,223
	うち交付金充当額		5,804	9,327	11,752	10,524	4,178
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	99.6%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行し、執行残を補正減した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	デジタルアーカイブシステムを構築する。	目標	( 構築 )	( )	( )	( )	
		実績	構築				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	読谷村ガイドブックコンテンツ及び所蔵写真等のデータベース化と動画コンテンツ制作を行い、デジタルアーカイブシステムを構築した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	サイトアクセス数	目標	( )	( 2,000件 )	( )	( )	( )
		実績		8,140件			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	地域散策マップ各種の総アクセス数は8,140件となり、目標値を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>ユンタンザフィールドミュージアムを推進するため、本村のガイドブックコンテンツや所蔵写真等を活用した地域散策マップサイトを構築した。 アクセス数については、ユンタンザミュージアムのSNS等からトップページへ誘導したことにより目標を達成できたと考える。</p>	<p>サイトがユンタンザフィールドミュージアムの起点として活用されるよう、更なる内容の充実やPRに取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>デジタルアーカイブシステムの構築により、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムの展示とあわせて、読谷村内各地に所在する歴史・文化・自然などの貴重な資源を地域の魅力として広く周知・活用することができるようになった。          今後はサイトの内容について、随時コンテンツ内容の検討やわかりやすい表現等への磨き上げを行い、地域に誘導しやすい環境をつくり、さらにアクセス数増加につながるような取り組みを検討し実施する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	5,223	5,223	4,178	1,045	0
<pre> graph LR     A[読谷村 5,223千円] --&gt; B[委託料 5,223千円]     B --&gt; C[株式会社バリューリソース・デザイン 5,223千円]     subgraph D [ ]         C     end     style D stroke-dasharray: 5 5     </pre>					
資金の流 れ 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は指名競争入札により、最低価格提示事業者へ決定し、発注したので妥当であったと考える。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残が生じたが、委託仕様のとおり業務を遂行できたため、予算規模は適切な規模であったと考える。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			



市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-ア		
	教育委員会 文化振興課		事業実施(予定)年度 平成25~令和3年度		沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
担当部署名			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄独特の口承文化や歌詞を支えてきた沖縄語の保存継承に寄与するため、生まれ育った地域の沖縄語を調査、整理し、沖縄語に親しめる小冊子を製作する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	6,062	5,900	7,075	6,260	10,000
	(b) 予算現額	5,095	5,017	6,130	7,436	10,350	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 967	▲ 883	▲ 945	1,176	350	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	5,095	5,017	6,130	7,436	10,350	
	B. 執行済額	5,095	5,017	6,097	7,436	9,518	
	うち交付金充当額	4,076	4,013	4,877	5,948	7,614	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.5%	100.0%	92.0%	
予算の状況の説明		小冊子1,000冊増刷により事業費350千円を増した。不用額は、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	沖縄語(しまくとぅば)の単語調査・整理・原稿執筆(32項)	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	パンフレットの印刷製本	目標	(      )	(      )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績			実施	実施	
達成状況説明	これまで集積してきた民話や聞き取り調査のデータ整理及び新たな聞き取り調査を行った。沖縄語(しまくとぅば)を保存継承するためのパンフレット「読谷村のしまくとぅば2~どうよーじょー」を1,000部発刊した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		目標	(      )	(      )	( 完了 )	( 1,000部 )	(      )
	実績			完了	1,000部		
	・村内小中学校(7校)、自治会(24自治会)へ配布	目標	(      )	(      )	( 完了 )	( 7校 24自治会 )	(      )
		実績			完了	7校 24自治会	
	【H30、R1成果目標】 教材の活用により、沖縄語の理解が深まったか(80%以上)を含め、沖縄語の保存継承のあり方をアンケート調査により検証する。	目標	(      )	(      )	(      )	( 80% )	(      )
実績					未実施		
進捗状況説明	<p>・読谷村のしまくとぅば教材(パンフレット)を1,000冊発刊した。なお、発刊についてメディア等で取り上げて頂いた影響もあり、村内外から購入を希望する方が多く、新たに村費予算を確保し1,000冊を増刷したが、約3か月で完売となり、再度1,000冊を増刷し販売している。</p> <p>・製作した小冊子を村内幼稚園や小中学校、村内各自治会等へ配布した。保育園や学童保育、自治会、図書館等においては児童生徒への読み聞かせ、ユンタンザミュージアムでは「しまくとぅばで語る民話」講座で活用されている。</p> <p>・教材の活用により沖縄語の理解が深まったかアンケートをとる予定であったが、完成が年度末となったため学校現場での活用ができず、実施することができなかった。また、平成30年度に作成した教材「読谷村のしまくとぅば~子どもの成長~」についても、令和元年度から学校現場で活用しており、年度末の3月中にアンケート調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による学校の休業等があり、調査を保留したことから未実施となった。</p>						

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄語の理解を深めるためには、文字表記だけでは不十分であり、実際にしまくとぅばを聞くことができるような環境を整える必要がある。</li> <li>・学校現場の多くの教職員においても、しまくとぅばを話すことができないのが現状である。子供たちへしまくとぅばを伝承するとともに、教職員に対してもしまくとぅばを学ぶ機会を増やす必要がある。</li> <li>・教材については、より多くの民話や語彙を調査することにより小冊子の内容が充実すると考え、その調査資料及び先人たちが残したしまくとぅばへの想いを後世へ受け継ぐことの責任から小冊子編纂に熟慮し時間を要した為、完成が年度末となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに作成した紙芝居及び小冊子に加え、CDやホームページ上で音声表記する等、音声を活用した取り組みを検討する。</li> <li>・子供たちのみならず、教職員も学べるよう講座などの開催が必要である。</li> <li>・教材の活用により沖縄語の理解が深まったかについて12月末～2月にアンケートを実施し、当事業の成果について検証を行う。</li> </ul>

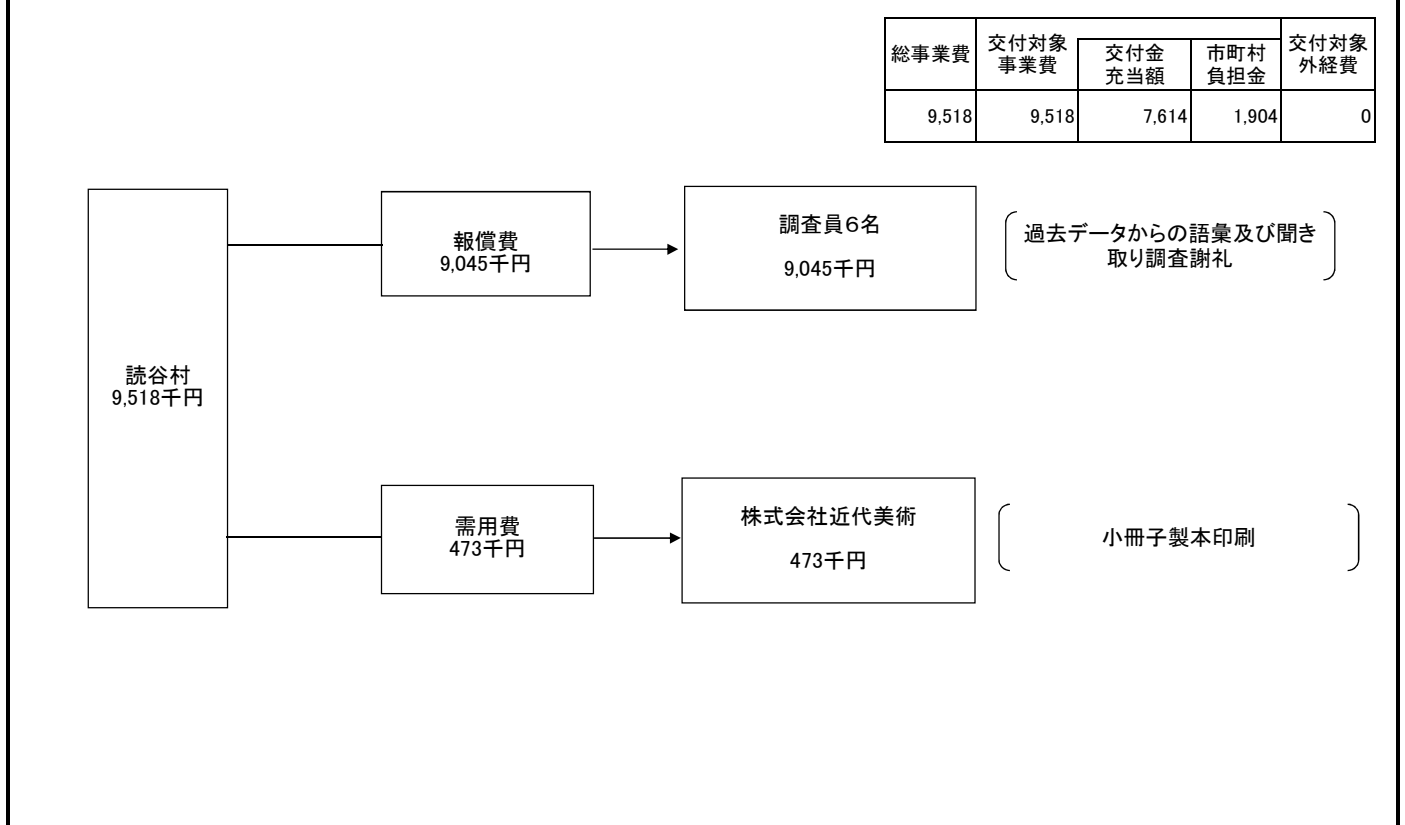
**今後の取り組み方針**

・実際にしまくとぅばを聞くことができるような環境を整えるため、これまで作成した教材に加え、音声表記を作成し、WEB公開できるよう調整を行う。また、作成する音声表記をOD化し、個人、しまくとぅばに関心のある方々が親しめるよう提供を検討する。

・これまで取り組んできた児童・生徒を対象とする「しまくとぅばで語る民話」講座に加え、教職員を対象とした「しまくとぅば講座」を開催するなど、しまくとぅばの話者の派遣や講座などを実施し、子供たちや教職員が学べる環境づくりを行う。

・学校行事及び年度末の業務量を鑑みてアンケート実施期間を12月末～2月とし、紙媒体の他E-mailなど電子媒体と併用して回答率を上げ、確実に検証に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○印刷業者は指名競争入札等を行い、最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算規模は印刷委託業務において入札残が生じたが、委託仕様のとおりに業務を遂行でき適正規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村							
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	3-③	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部署名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-2			
事業内容	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性の確保を図るため、駐車場整備に向けた実施設計を行う。								
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
		(a) 当初予算額	12,172	16,504					
		(b) 予算現額	12,484	15,070					
		(c) 増減額 (b-a)	312	▲ 1,434					
		(d) 繰越額	—	—					
		A. 計 (b+d)	12,484	15,070					
		B. 執行済額	12,484	15,070					
		うち交付金充当額	9,986	12,056					
		次年度繰越額	0	0					
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%					
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行し、執行残を補正減した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	実施設計の作成	目標	( 基礎調査の実施 )	( 実施設計の作成 )	( )	( )			
		実績	基礎調査の実施	実施設計の作成					
		目標	( )	( )	( )	( )			
		実績							
達成状況説明	ユンタンザミュージアム南側駐車場の実施設計を実施した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)			
		目標	( )	( 基礎調査の完了 )	( 実施設計の完了 )	( )	( )		
	実績		基礎調査の完了	実施設計の完了					
	【R4成果目標】 ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	( 80% )		
進捗状況説明	ユンタンザミュージアム南側駐車場実施設計が完了したことで目標を達成した。								

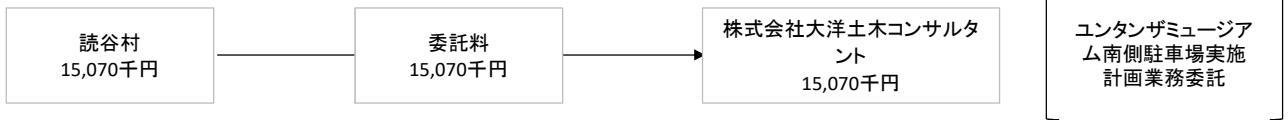
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	計画どおりユンタンザミュージアム南側駐車場の実施設計を完了した。	今後は実施設計に基づき、用地購入、駐車場整備を進めていく。併せて、修学旅行や民泊等によるユンタンザミュージアム及び座喜味城跡の更なる活用のための周知方法についても検討を行う。

**今後の取り組み方針**

令和3年度に用地購入を実施し、その後、財源の調整を行い整備を進めていく。また、修学旅行フェア参加や旅行社へユンタンザミュージアム及び座喜味城跡について効果的に周知するための手段などの検討を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
15,070	15,070	12,056	3,014	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、事業目標は達成されているため、適切な規模であったと考える。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

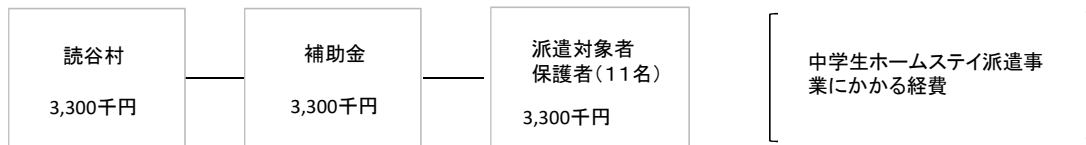
市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 中学生海外ホームステイ派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校指導課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	村内在住の中学生を英語圏へ短期間派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		(b)予算現額	3,600	3,600	3,300	3,600	3,300
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲300	0	▲300
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A.計(b+d)	3,600	3,600	3,300	3,600	3,300	
	B.執行済額	3,600	3,600	3,300	3,300	3,300	
	うち交付金充当額	2,880	2,880	2,640	2,880	2,640	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	
予算の状況の説明	派遣人数が予定よりも1名減となったため、事業費300千円を減額し執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	村内在住の中学生を英語圏へ派遣する	目標	( 12人 )	( 12人 )	( 12人 )	( 派遣 )	
		実績	12人	11人	12人	11人派遣	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	夏休みの1ヶ月間を利用して、村内の中学生11人をオーストラリアに派遣し、語学研修や体験学習、ホームステイを実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1活動目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	保護者へのアンケートで帰国後、国際的な視野が広まったと回答した割合80%	目標	( )	( )	( 80%以上 )	( 80% )	( )
		実績			100%	90%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	帰国後のアンケートの結果、派遣した生徒に関して国際的な視野が広まったと感じた保護者の割合は90%であり、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助額と同額以上の自己負担が生じることから、保護者の金銭的負担が大きく、経済的理由で応募者が限定される可能性がある。令和元年度に派遣人数の削減による補助率の引き上げについて検討したが、継続協議となった。</li> <li>参加した生徒達からは「英語の点数が上がった」「これからも継続して勉強していきたい」という声があり、今後も継続的に派遣を行っていきたいが、特に昨今は、国際的に広がる感染症や自然災害、社会情勢等を踏まえて実施していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的な理由で応募を諦めることがないよう、補助率の引き上げ等について引き続き検討する。</li> <li>派遣先を慎重に選定し、生徒達の安全を第一に事業を実施していく。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助率の引き上げや家庭の経済的事情に左右されずに応募できる枠を設けるなど、取組の検証結果を踏まえ、検討する。</li> <li>安全性が高く、文化や教育を学ぶに相応しい派遣先を広く検討するとともに、生徒達の安全確保が難しいと判断した場合は中止も念頭において事業を実施する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,300	3,300	2,640	660	0



資金の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣される生徒は教育委員会で書類及び面接によって公平に選考しており、選定方法は妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△現在の補助金額では保護者の金銭的負担が大きいとの声もあるため、改善の検討が必要である。
	△	受益者との負担関係は妥当であるか。	△受益者との負担関係についても、上記同様である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであるか等について支出等に関する書類により確認、適当である。

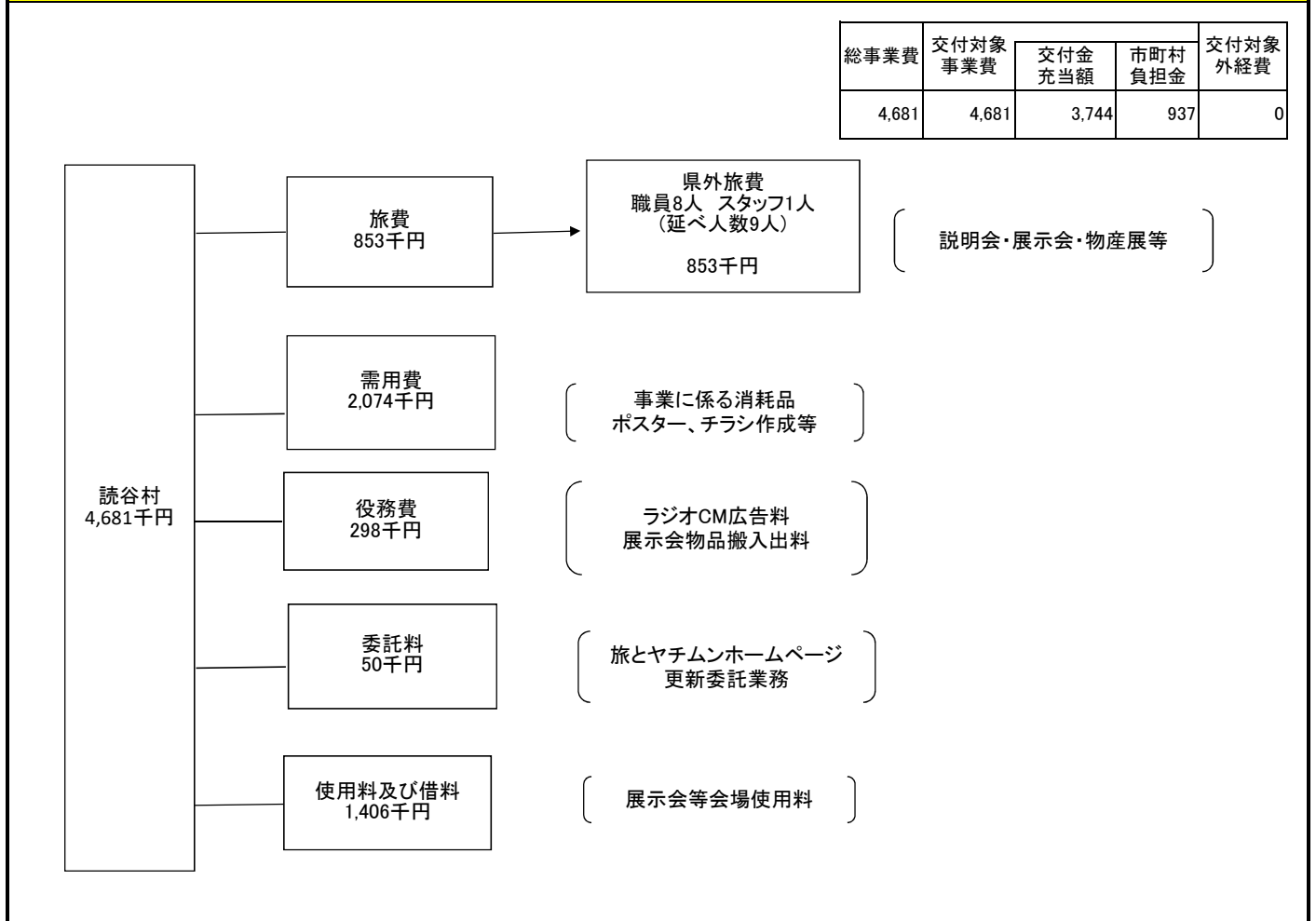
市町村名		読谷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-イ		
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興 Ⅲ-1-(7)
事業内容	1978年に策定した「ヤチムンの邑(むら)」基本構想に基づき、本村の伝統工芸の持続的発展を図るため、県外におけるマーケティング及びプロモーション活動を実施し、販路拡大並びに人材育成に取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,234	12,993	12,352	9,992	8,434
		(b) 予算現額	12,946	12,031	8,800	6,610	4,894
		(c) 増減額(b-a)	▲ 288	▲ 962	▲ 3,552	▲ 3,382	▲ 3,540
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		12,946	12,031	8,800	6,610	4,894
	B. 執行済額		11,322	11,358	8,279	6,214	4,681
	うち交付金充当額		9,057	9,086	6,623	4,931	3,744
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		87.5%	94.4%	94.1%	94.0%	95.6%
予算の状況の説明		事業の効率化に努め、適切な予算執行だと考えられる。予算減額の3,540千円は、旅費(航空運賃)などの執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	テストマーケティング等の実施 2回	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 3回 )	( 2回 )	
		実績	実施	実施	3回	2回	
	物産展への出展 1回	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 1回 )	( 1回 )	
		実績	実施	実施	1回	1回	
	展示会への出展 2回	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 2回 )	( 2回 )	
		実績	実施	実施	2回	1回	
周知用媒体ツールの作成	目標	(            )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )		
	実績		実施	実施	実施		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストマーケティングについては、TENOKA代官山での「読谷のヤチムン展」、ニッポン全国物産展の合わせて2回行った。両イベント共に昨年度よりも売上が伸び、販売促進と認知度向上が図れた。</li> <li>・展示会は予定していた展示会と読谷で行われる事業が重なってしまったため、ツーリズムEXPOジャパンへの1回のみとなった。旅行店などとの商談会を13回実施し、ヤチムンの里や陶器市をはじめとする観光素材を紹介した。</li> <li>・周知用媒体ツールの作成については、「旅とヤチムン」及び「ヤチムン散歩」の2つのリーフレットの改訂増刷と伝統工芸を説明するための横幕を作成し、効果的なプロモーションが行えた。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	陶器市の来場者数	目標	(            )	(            )	( 14,057人 )	( 14,338人 )	(            )
		実績			14,302人	14,486人	
進捗状況説明		12月に開催された陶器市来場者数は昨年度より184人増加し、目標を達成することができた。また、陶器市の際に、認知度やニーズなどを調査するため来場者へのアンケートを行った。回答者のうち約43%となる201人は県外から来た方で昨年に比べ微増しており、県外の方の認知度の高さが継続していることが推察される。また、初めて来場された方も211人と回答者の45%を超えており、プロモーションも効果的だったと思われる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、本村の別の観光業務と見本市の日程が重なっていたため、物品を取り扱うバイヤーに対する見本市に出展することができなかった。卸売業者に対するプロモーションとニーズの掘り起こしが不足している。</li> <li>・テストマーケティングの場として、TENOHA代官山で「読谷のヤチムン展」を開催していたが、当施設が閉店したため、新たな出店先を探す必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイヤーに対しての見本市へ出展を検討する。また、陶工や織の作者も参加することで直接の取引を行い、販路拡大に繋げる。</li> <li>・テストマーケティングは、これまで東京や大阪など都市圏で行ってきたが、焼物が盛んな地域で出店することで焼物ファンを取り込める可能性がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・見本市でバイヤーとの商談による新規販路の開拓、テストマーケティングでニーズの掘り起こしに取り組み、認知度向上を目指す。
- ・笠間焼で有名な茨城県笠間市を出店先として調整し、当地域でテストマーケティングを行うとともに、焼き物ファンに対する効果的なPR方法を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○旅費については、村内旅行業者2社からの見積徴収により、最低価格者へ決定し発注しており、需用費の多くを占める印刷製本費はパンフレット制作時に携わった組版、写真権利を持っている業者に依頼しているため、支出先の選定は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○旅費等の減額があるが出展することができていれば概ね本村の工芸品プロモーションを行う事業に見合った予算規模であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであるか、支出先に関する書類により確認しているため適正であると考えている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	読谷村							
<b>令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>								
事業番号・事業名	6-①	低炭素社会構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ウ			
担当部署名	総務部 生活環境課	事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素都市づくりの推進			
事業内容	積極的な省エネルギー設備の導入により、環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊かな環境に配慮した村づくりの推進を図るために、防犯灯等をLED照明に切替、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	予算の状況	(a)当初予算額	19,440	82,620				
		(b)予算現額	18,792	80,300				
		(c)増減額(b-a)	▲648	▲2,320				
		(d)繰越額	0	0				
		A.計(b+d)	18,792	80,300				
	B.執行済額		18,792	80,300				
	うち交付金充当額		15,033	64,240				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		事業費減額は入札残によるものであり、概ね計画的に執行できたと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	R1年度分防犯灯等のLED切替工事の実施	目標	( 調査の実施 )	( 工事の実施 )	( )	( )		
		実績	調査の実施	工事の実施				
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	R1年度分のLED照明への切替工事を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
	R1年度分防犯灯等のLED切替工事の完了	目標	( )	( 調査の完了 )	( 工事の完了 )	( )	( )	
		実績		調査の完了	工事の完了			
	【R3成果目標】防犯灯のLED化によるCO2排出削減量268.5t-CO2		目標	( )	( )	( )	( )	CO2の268.5tの削減
	進捗状況説明	R1年度分のLED照明への切替工事を完了した。今後はR2年度分の工事も計画的に進めていく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今年度の取り組みで830基の防犯灯をLED照明へ切替えることができた。防犯灯のLED化は、読谷村地球温暖化対策実行計画において、CO2排出量の削減目標のひとつであるため、R2年度工事においても円滑に執行し、CO2排出量の削減に努める必要がある。</p>	<p>R2年度においても、H30年度の調査業務を基に、LED切替の適切な施工方法等を確認しながら、工事を円滑に行っていく。また、CO2排出量の削減についても、速やかに達成状況を報告できるよう準備していく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>R2年度LED照明整備工事(798基)について、適正な工期の設定、管理を行い、計画的に進めていく。また、工事完了後のCO2排出量の削減状況を読谷村地球温暖化対策実行計画において報告し、成果を公表していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	80,300	80,300	64,240	16,060	0
<pre> graph LR     A[読谷村 80,300千円] --&gt; B[工事費 80,300千円]     B --&gt; C[有限会社イラミナ電設 80,300千円]     </pre> <p style="text-align: right;">LED照明への切替工事</p>					

資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本工事業業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額はなく、適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については本工事費のみであり、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
<b>令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	7-① 読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
担当部署名	建設整備部 都市計画課	令和元年度～令和3年度					
	事業実施(予定)年度	沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地利活用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,000				
		(b) 予算現額	12,924				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 76				
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		12,924				
	B. 執行済額		12,924				
	うち交付金充当額		10,339				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画書のとおり実施した。事業費の減額は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度		
	崖地対策実施設計を行う	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	崖地対策実施設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)	
	崖地対策実施設計完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R3成果目標】 区画整理地の開発可能区域増 約16,792㎡	目標	( )	( )	( )	( )	( 約16,792㎡ )
		進捗状況説明	令和2年度以降の工事に向け、崖地対策実施設計を完了した。				

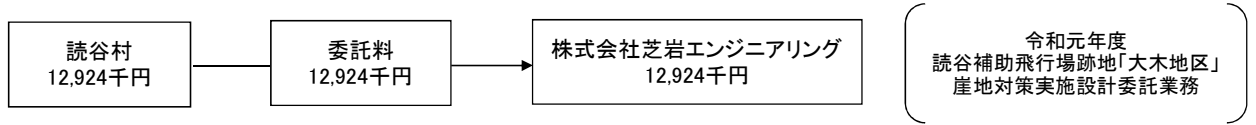
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	読谷補助飛行場跡地(大木地区)は、崖地と区画整理地の境界が隣接しており、住宅予定地が危険な状況にある。崖地対策の実施設計が完了し、崖地対策工事を実施する準備が整った。	今年度実施した崖地対策実施設計の成果を踏まえ、大木地区区画整理組合と調整し、同工事を進めていく。

**今後の取り組み方針**

令和2年度から令和3年度にかけて、崖地対策工事を実施する。  
 実施後は、大木地区区画整理組合と調整を行いながら、当該地区の区画整理事業(地区整備)を進め、跡地利用を推進していく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,924	12,924	10,339	2,585	0



資金の 使途の 流れ 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えられる。 ○予算規模、費目・使途についても適正であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	